

別紙

指定管理業務評価表

施設名	小牧市ふれあいの家（障害者デイサービス施設ひかり）		
対象年度	令和4年度	評価担当部	福祉部
指定管理者名	社会福祉法人小牧市社会福祉協議会 （法人番号 1800-05-008384）		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員：5人 非常勤職員：5人 合計：10人		

1. 利用実績

(1) 利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年度比
延利用者数	93	93	107	78	68	88	80	69	58	58	66	85	943	104.8%
利用日数	19	19	22	20	21	20	20	20	19	18	19	21	238	-
1日平均	5	5	5	4	3	4	4	3	3	3	3	4	4	-

(2) 増減要因

施設に入所した方や、家庭環境の変化などにより通所を休止した方もいる中、新たな利用者を受け入れていることなどもおり、利用者数は前年度から微増となった。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	1回目：7月1日から7月31日 2回目：1月4日から1月31日	回答数	26人／26人 45人／45人
アンケート結果の概要等	<p>満足度は1、2回目通じて全ての方が「満足」「概ね満足」と回答しており、前年同様、高い評価を得ている。 （「満足」66%（前年80%）、「概ね満足」34%（前年19%） また、自由意見についてもほとんどが肯定的な意見だった。主な意見は以下のとおり。</p> <p>① 職員さん一人一人が優しくて、とても感謝しています。マンツーマンのような形で接してもらえるのでありがたいです。コロナが収束したらどんどん外に出る事を計画してほしいです。</p> <p>② 一人ひとりに向き合ってくれる所はとても良いと思います。コロナ禍の中閉鎖にもならず、毎日の生活がおくれる事に感謝します。</p> <p>③ 活動内容が楽しくて、本人も楽しく通所しています。体調など何時も細かく丁寧に見ていただきありがとうございます。</p> <p>④ 色々なおもちゃで楽しく遊べるので助かります！少し電池の液もれみ</p>		

	たいなものがあったりするので、そこだけ見てもらえると嬉しいです。
具体的な 対応状況	<p>自由意見に対して丁寧に回答されており、必要に応じて改善策や運営の変更等が検討され、実行されている。</p> <p>上記「アンケート結果の概要等」にある主な意見に対する施設の回答は以下のとおり。</p> <p>④ 電池切れや液もれしたのものに関しましては、電池を入れた箱の中に処分する電池を入れる箱を用意しました。お手数ですが、そちらに入れてください。なお、おもちゃ本体に液漏れなどの影響がみられた際には、職員までお声かけください。</p>

3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和3年度 (前年決算額)	令和4年度 (現年決算額)	令和5年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	34,751	37,706	41,524	
	事業収入	0	0	0	
	合計	34,751	37,706	41,524	
支 出	人件費	28,843	30,768	33,493	
	事業費	3,394	3,836	4,655	
	事務費	2,374	2,962	3,226	
	その他	140	140	150	
	合計	34,751	37,706	41,524	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画における人員配置を満たしている。 ○ 職員研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部機関が主催する研修への参加などは計画通りに実施できなかったものの、愛知県医療療育総合センター主催の研修に参加するなど、数少ない機会を有効に活用している。毎月の職員会議で事例検討を実施したり、各職員が障がい種別ごとの特性を研究して発表し合う学習会を開催するなど、施設独自の研修を充実させることで職員の知識、技術の向上に努めている。また、医療的ケアや救急搬送等緊急時における内部研修を行った。来年度以降増やしていきたい。 ○ 利用促進業務について、開園 30 周年を迎えたことから記念のパンフレットを作成し、各事業所に配布した。市のセーフティネットとしての役割を果たすべく、「断らない支援体制」で対応している点は高く評価できる。また、通所しない

	<p>日でも電話で相談を受けたり、長期間通所のない利用者に連絡を取るなど、稼働率の向上に向けた取り組みも実施されている。</p>
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設・設備の点検・保守は協定に基づき適切に行われている。 ○ 施設内は職員が毎日清掃しており、清潔に保たれている。 ○ 実効性のある避難訓練（地震・火災訓練）が年2回実施されている。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったイベントの代替としてアロママッサージ講座回数を増やすなど、利用者を楽しんでもらう工夫を行っている。 ○ おもちゃ図書館について、児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所が活用するなど、利用者の幅が広がっている。
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていたバスツアーを再開した。コロナ禍前は年2回であったが、密を避けるため今年は年3回の実施となった。創意工夫により可能な限りのイベント実施がされている。 ○ 利用者アンケートが年2回実施され、満足度（「満足」「概ね満足」の割合）は100%（前年99%）と良好であった。また、自由意見に対して丁寧に回答されており、アンケートの意見を踏まえた改善策が実行されている。
収支状況 及び 経費節減	<ul style="list-style-type: none"> ○ できることは業者に任せずに職員自ら実施したり、書類のデータ化や裏面利用により紙の使用量削減に取り組むなど、経費削減の取組が確実に実行されている。
その他 （緊急時の対応、 市の改善指示に対する 対応等）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の要望に応えるべく、コロナ前のイベントの再開に努めている。また、利用者の相談に対応するため、電話回線を増設するなど、設備面の改善も施されている。 ○ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、支援内容の変更、感染防止策の実施など、迅速かつ適切に対応されている。大雨等の警報が発令される前であっても状況に応じた対応を行っている。また、あさひ学園の看護師と意見交換を実施するなど、情報収集にも積極的に努めている。